

## 9月21日（火）全校集会「変化に挑戦しよう！」

皆さん、おはようございます。7月以来の全校集会になりました。

教室でオンライン集会にするか、体育館で全校集会をするか、ちょっと考えました。考えた結果、全校集会を体育館で実施した方がリスクが少ないと判断しました。

- ・普通教室の空間の体積は、大きく見積もって、 $9\text{m} \times 8\text{m} \times \text{高さ} 3\text{m} = 216\text{m}^3$ です。  
生徒と先生合わせて25人とすると、一人当たりの空間体積は $8.64\text{m}^3$ です。
- ・体育館の空間体積は、少なく見積もっても、 $30\text{m} \times 26\text{m} \times \text{高さ} 9\text{m} = 7020\text{m}^3$ です。  
生徒と先生合わせて180人とすると、一人当たりの空間体積は $39\text{m}^3$ です。

広さの値、教室オンライン集会8.6、体育館全校集会39なので、全校集会の方が密を避けている、と判断しました。

さて、本当に、久しぶりにみんなが揃って、嬉しいですね。ちょっと、立ってもらえますか？身長が伸びた人もいますね。懐かしい顔が揃いましたから、その場でゆっくりと回って、周りの人を見てみましょう。目が合ったら、手を振ってもいいですよ。…はい、では、また座ってください。

今日は、「変化に挑戦しよう」という話をします。

10年前2011年にアメリカの学者が未来を予測した言葉があります。

「2011年度にアメリカの小学校に入学した子どもたちの65%は、大学卒業時に今は存在していない職業に就くだろう」今の3年生は2012年度に小学校に入学しました。この予測は、皆さんの1年先輩に当たる世代をモデルにしたものです。この10年で新しく生まれた職業、例えばユーチューバー、ドローンパイロット、ロボットクリエイター、VRアーティスト、ひとり出版社、ウーバーイーツ配達員、などがあります。学校は比較的变化が少ない方と言われますが、それでも新しい仕事があります。例えば、スクールサポートスタッフ、ICT支援員、くまなびスクール支援員、GIGAスクール担当、学校運営協議会委員などです。いろいろありますね。本当に、皆さんの65%以上は、10年前には存在しなかった職業についているかも知れません。

奈良中学校でも、少しずつ、変化に挑戦しています。感染症に配慮しながらも、みんながつながることができるように、オンライン朝の会で、みんなの顔を端末画面上で見るようにしたクラスがありました。先生方は、これを、どのクラスでもできるようにしようとしています。そして、万一、感染症による臨時休校になったときに、オンライン教材やオンライン授業など、学習を補えるようにするため、努力します。

一方で、便利なことに乗っかりすぎて、人間の能力が下がっていくのではないかという指摘もあります。例えば、私も、パソコンで文字を書くことが多くなり、手書き文字を書くことが減りました。最近、手書き文字を書くときに、とっさに漢字が出てこないことがあります。生徒のみんな、先生方、そういうこと、ありませんか？…やはり、黒板、ノート、鉛筆での学びが無くなっていいものではありません。

奈良中学校では、黒板を使った授業も大切にします。実際に、分散登校期間中、メッセージボードや黒板メッセージを作って、2分されたメンバーをつなごうとしたクラスもありました。

正解は一つだけではない。オンライン朝の会も、メッセージボードも、どちらも温かいですよ。みなさん、「変化に挑戦しよう！」とは、そういうことです。変わった方がいいことを見つけたら、積極的に変わっていきます。でも、今まであったいいことは捨てません。「変わっていくこと」「変わってはいけないこと」どちらも大切にしましょう。またまた繰り返しになりますが、それが「世界を小とする奈良中生」なのだと思います。

「変化に挑戦しよう！」の話は、以上です。